

8月18日(日) 住民投票



板柳町統合小学校整備に関する2つの選択肢の比較

これまで板柳町と板柳町教育委員会は、総合教育会議において「既存施設を利活用した小学校統合」について協議・調整を繰り返し、統合小学校の開校に向けて準備を進めてきました。しかしながら、板柳中学校に隣接して統合小学校を新築することを希望する町内会や町民の方々から、町や議会に要望書・請願書等をいただきました。また、令和6年6月議会定例会において議員発議による「板柳町統合小学校整備に関する住民投票条例の制定について」が賛成多数で可決されました。

そこで、「**板柳中学校に隣接し、統合小学校を新築する**」、「**板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修する**」のどちらかを選択する住民投票を行います。本資料は住民投票を行うにあたって、町民の皆様が公平かつ公正に判断するための材料などについてお知らせするものです。板柳町の将来に関わる重要な内容となりますので、投票いただきますようよろしくお願いします。

板柳中学校に隣接し、統合小学校を新築する

【概要について】

- 板柳町の義務教育施設エリアとして、新築により整備する。
(事業費約54億円 ※内訳は裏面参照)
- 校舎等は快適で機能性が高く、ユニバーサルデザインに配慮した学校施設として整備する。
- 隣接する中学校と相互の連携強化が推進され、将来の小中一貫教育を視野に入れた教育活動の展開が期待される。
- 新築に係る基本計画の策定が必要であり、**開校時期は令和12年4月**の予定である。(現時点での見通し)

【立地や施設整備条件等について】

- 新築場所は板柳中学校隣接地**(中学校校舎の北側を予定)。
※校舎新築(鉄筋コンクリート造3階)、体育館新築(鉄骨造)
- 小学生の校門は、自転車通学する中学生と安全面を考慮して分離するため町道側に計画する。
- 校舎の新築に合わせて、作業や搬入の動線を考慮して新基準に適合した給食棟を新築する。
- 屋外施設として、小学生用のグラウンド(陸上トラック)、屋外トイレ、プール、遊具、駐車場等を整備する予定である。
- 工事期間中は、統合するまで各小学校で学ぶことから、仮設校舎の検討は必要ない。
- 周辺道路は主要地方道五所川原岩木線が近くにあり、東側町道、南側(校門)町道に出入口がある。
- グラウンドや駐車場、学童クラブ等の整備のため、用地の拡大が必要である。(購入予定:約30,000㎡)

【通学に関することについて】

- 中学校が隣接しており、町の中央部で地域のバランスがとれた場所である。
- 雨天時は中学生と小学生の送迎車両で交通量が多くなり混雑が想定されるが、小中で両方に子どもがいる場合は利便性が高くなる。
- 遠距離通学者にはスクールバスを運行する。地区によっては冬期間の朝の通学は小中学生が一緒に乗車することも検討できる。

【放課後について】

- 学童クラブは約200人を想定して、拡大用地内に新築する計画である。帰りは保護者が迎えに来ることになるが、中学校は町中央付近のため南小と比較した場合、距離が遠い地区は少なくなる。
- 地域クラブ活動(部活動に代わる活動)において、旧板高・公民館で活動している場合、移動距離が長く送迎が必要である。

【財政等について】 (※事業費内訳は裏面参照)

- 新築では国の補助金等として公立学校施設整備費負担金と学校施設環境改善交付金の対象となる。
- 財源の多くが借入金(過疎債)である。長寿命化と比較して借入金額が多くなり、町の他事業へ影響することが懸念される。

【その他】

- 将来(約26年後)は著しい児童数減少が予想され、各学年は1クラスとなり空き教室が増えることが推定されている。
- 校舎等の施設は新築から40～50年継続使用する。ただし、経年劣化に伴う修繕工事は必要である。
- 長寿命化改修と比較して、新築の場合は開校が2年遅れるため建築後50年を迎える小阿弥小の老朽化対策や児童数減少に伴う複式学級への対応について検討が必要である。

板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修する

【概要について】

- 既存施設を長寿命化改修して、有効に活用した整備を推進する。(事業費約31億円 ※内訳は裏面参照)
- 既存校舎を利用するため、レイアウトなど自由度は制限されるが、全面改修により新築に近い教育環境を整備する。
- 中学校から約3km離れているため、学年単位等での児童生徒の交流や教職員の交流に重点を置いた小中連携教育を推進する。
- 改修基本計画は策定済で、基礎、構造体の工事が不要なことから工事期間が短く、**開校時期は令和10年4月**の予定である。

【立地や施設整備条件等について】

- 板柳南小学校**(昭和59年竣工)を**長寿命化改修**する。
※既設校舎(鉄筋コンクリート造3階)、既設体育館(鉄骨造)
- 南小を調査した結果、建物のコンクリートの状態は健全性が高く、長寿命化改修することで今後30年以上使用できる。
- 南小の給食室は旧基準であるため、作業や搬入の動線を考慮して新基準に適合した給食棟の増築工事が必要である。
- 屋外施設である、グラウンド(陸上トラック)やプールは改修し、駐車場が不足するため追加で整備する予定である。
- 工事期間中は、仮設校舎を建設せずに南小の児童は北小と一緒に学ぶ予定である。
- 周辺道路は国道339号沿いで、南側町道には体育館側の出入口の他に新たに出入口通路を整備する計画である。
- 駐車場、学童クラブ等の整備のため、用地の拡大が必要である。(購入予定:約4,000㎡)

【通学に関することについて】

- 南小は徒歩通学できる距離に住んでいる児童が多い地域であり、近くに板柳交番があるため安全面でのメリットがある。
- 国道339号は朝夕の交通量が多く混雑が想定されるが、送迎時の混雑軽減の対策として町道とのT字路交差点に感应式信号機の整備、町道の拡幅(歩道整備)を計画している。
- 遠距離通学者にはスクールバスを運行する。南小から遠い地区は、バス出発時間等の配慮が必要である。

【放課後について】

- 学童クラブは約200人を想定して、拡大用地内に新築する計画である。帰りは保護者が迎えに来ることになるが、一部の地区については距離が遠くなる。
- 地域クラブ活動(部活動に代わる活動)において、旧板高・公民館で活動している場合、移動距離が近く徒歩移動が可能である。

【財政等について】 (※事業費内訳は裏面参照)

- 長寿命化では国の補助金等として学校施設環境改善交付金の対象となる。
- 財源の多くが借入金(過疎債)である。新築と比較して借入金額を約17億円削減でき、1年あたりの返済額を少なくできる。

【その他】

- 将来(約26年後)は著しい児童数減少が予想され、各学年は1クラスとなり空き教室が増えることが推定されている。
- 南小は建築後40年経過しているが、長寿命化工事を行うことで更に30年以上建物を継続使用することが可能である。ただし、経年劣化に伴う修繕工事は必要である。
- 南小は長寿命化改修して利活用するため、廃校となる小学校は3校となる。

財 源		板柳中学校に隣接し、統合小学校を新築する
財源内訳	国の補助金等	9億6396万円
	国からの借入金(過疎債)	42億8010万円
	25年償還	うち地方交付税措置 (29億9607万円) うち町の将来負担分 (12億8403万円) 【毎年の返済額(実質町負担額) 約5100万円】
	一般財源	町の負担分 2億0285万円
総事業費		54億4691万円 うち町の負担総額 (14億8688万円)
特記事項		・令和6年3月議会定例会で報告した金額。 ・基本設計・実施設計により再計算の必要がある。

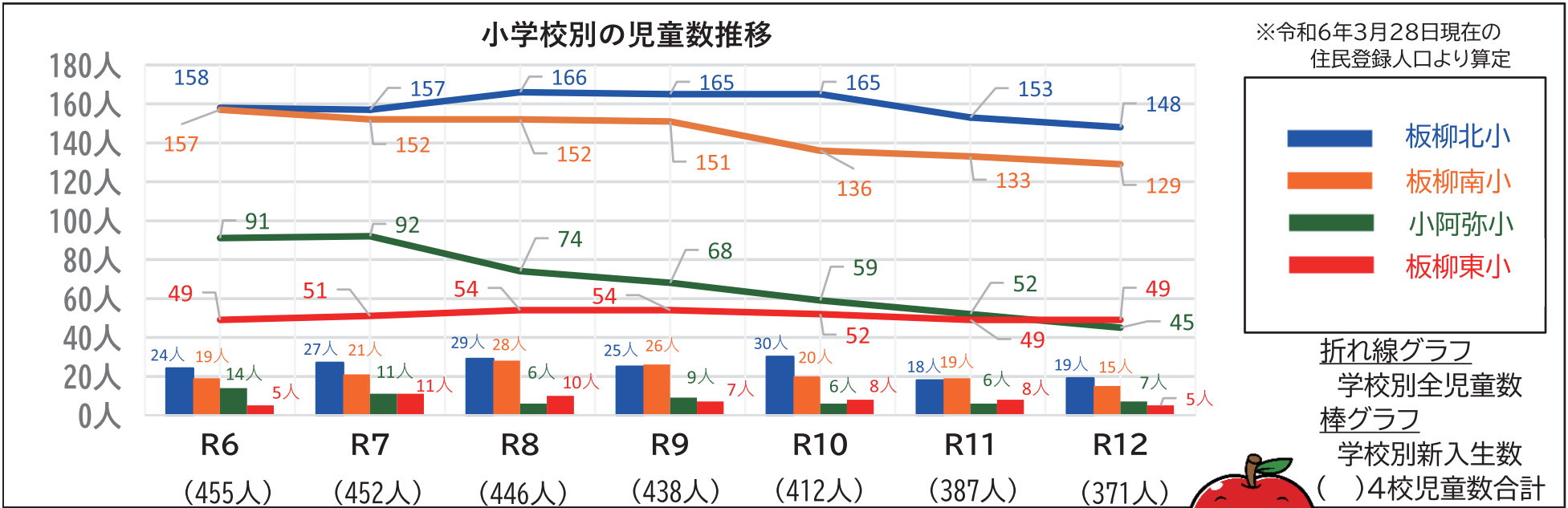
事業費内訳		板柳中学校に隣接し、統合小学校を新築する
委託料	設計, 監理, 調査等	3億8998万円
工事費	校舎, 体育館等	43億4800万円
	屋外施設(グラウンド等)	2億9200万円
	附帯工事	2億1000万円
用地費	土地, 補償費等	2億0280万円
その他	手数料等	413万円
特記事項		・委託料には基本設計、実施設計、地質調査、工事監理委託を含む。 ・校舎は児童数約400人規模での新築を想定している。 ・屋外施設には、グラウンド整備（陸上トラック）、幅跳び場整備、プール整備を含む。 ・附帯工事には、駐車場及び通路の整備、屋外トイレ整備、遊具整備、水飲み場整備、外灯整備等を含む。 ・用地費には用地測量委託費を含む。

スケジュール		板柳中学校に隣接し、統合小学校を新築する
整備スケジュール	R6～7年	新築の基本計画策定
	R7年	用地測量、用地取得
	R8～9年	基本設計・実施設計委託
	R9～11年	造成工事・校舎等新築工事
	R10～11年	グラウンド・外構整備工事
	R12年4月	統合小学校開校

板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修する	
5億1622万円	
25億7880万円	
うち地方交付税措置 (18億0516万円) うち町の将来負担分 (7億7364万円) 【毎年の返済額(実質町負担額) 約3100万円】	
町の負担分 3354万円	
31億2856万円	
うち町の負担総額 (8億0718万円)	
・令和6年3月議会定例会で報告した金額。 ・基本設計・実施設計により再計算の必要がある。	

板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修する	
設計, 監理, 調査等	1億2069万円
校舎, 体育館等	27億8452万円
屋外施設(グラウンド等)	6552万円
附帯工事	1億2304万円
土地, 補償費等	3350万円
手数料等	129万円
・委託料には基本設計、実施設計、地質調査、工事監理委託を含む。 ・校舎は児童数約400人（S59竣工時は約550人）規模での長寿命化改修を想定している。 ・屋外施設には、グラウンド改修、プール改修を含む。 ・附帯工事には、駐車場及び通路の整備、外灯整備等を含む。 ・用地費には用地測量委託費を含む。	

板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修する	
R5年	基本計画策定済み(町HP公表)
R6年	用地測量、用地取得
R6～7年	基本設計・実施設計委託
R7年	造成工事
R8～9年	長寿命化改修工事
R10年4月	統合小学校開校



【問い合わせ先】

- 統合小学校に関すること 板柳町教育委員会学務課 電話（直通）0172-40-0567
- 住民投票に関すること 板柳町選挙管理委員会 電話（代表）0172-73-2111



町HPにも情報を掲載しています